

令和4年度第7回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和4年10月27日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで

会 場 中伊豆支所2階 教育委員会室

出席者 西尾真澄委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員

梅原賢治教育長

委員及び傍聴人以外の出席者

教育委員会教育部

部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、

社会教育課長 永沼健一、学校教育課主幹 鈴森正敏、

学校教育課主査 駒坂たえ子

欠席者 佐藤雅彦委員

1 開 会 (梅原教育長)

2 前回会議録の承認

教育委員確認の後、承認された。

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

(1) 前回教育委員会以降の主な行事等

9月30日 議会最終日

10月4日 下田市訪問

5日 伊豆市園長・センター長・校長会

6日 伊豆市教頭会

11日 静東教育長会・田方教育長会

12日 中伊豆小学校 指導課訪問

14日 修善寺中学校 指導課訪問、伊豆市教育委員会評価委員会

16日 土肥チャリティーコンサート

18日 市いじめ問題対策連絡協議会

19日 熊坂小学校 指導課訪問

21日 土肥小中一貫校 指導課訪問

24日 修善寺南小学校 指導課訪問

29日 伊豆市社会福祉大会

※新中学校説明会 10/18、19、21、24、25、26 19時～

(2) 市内小中学校の様子について

<児童生徒について>

新型コロナウイルス感染症の状況について

- ・9月以降は減少傾向である。一方、2つの学校で複数名が陽性となり、学級閉鎖とした。両校ともに、学級閉鎖後の感染拡大はない。

生徒指導に関すること

問題行動

- ・自傷行為が2学期から増えている生徒がおり、学校としては今後もこの生徒を注意して見ていく。
- ・夏休み課題テストの解答を近隣他校の生徒から塾で入手し、解答をSNSで複数名に拡散させた事案があった。
- ・子どもの鞄と靴下が鮎見橋付近にあったとのことで地域住民から学校に届け出があり、学校の職員が捜索するとともに保護者や親しい生徒にも確認したが所在不明のため、学校が警察へ通報した。その後、本人が学校へ来たため、無事を確認した。先日、他県で行方不明だった小学生が川で遺体で発見されたニュースがあったばかりであり、最悪の事態も考えて学校は対応した。
- ・健康観察支援アプリでは出席扱いになっているにも関わらず実際には登校していないことが判明したが、その後、先生が自宅を訪問し、無事を確認した。

不登校について

- ・児童1名が学習支援教室「いごこち」へ入級した。

いじめについて

- ・男子児童が担任のいないところでクラスの複数名を叩く、持ち物を壊す等の行為をする子がおり、指導している。
- ・男子生徒が体調不良を訴えて保健室に行ったが、実はいじめの相談が目的だったということがあった。また、別の生徒がトイレに隠れて泣いていたという事案があった。この生徒の学年のように1クラスしかないと小学校から人間関係が変わらないので、本人にとって嫌な関係がそのまま続くということは注意していかなければならない。

その他

- ・糖尿病の生徒が体調不良で給食後嘔吐し、血糖値が下がる事案があった。このような場合の学校での対応方法について、学校内で再度確認を行った。
- ・部活動の大会の時に外部指導者と顧問の先生との間で揉め事があった。
- ・移住者が最近増えており、転入する子どもも増えている。移住に関係する市の会議があり、移住者をどうやって増やしていくかという課題があるが、その対応策の一つとして、学校の受け入れ体制も考えていかなければならないと思っている。

教 育 長：これからは、うちの子は中学校の部活動でやる程度でよい、うちの子はもっとレ

ベルの高い指導を受けたいので〇〇コーチがいるクラブでやりたい、というような様々な希望が出てくるかもしれない。

教育委員：糖尿病などの持病がある子どもがいた場合、学校でも例えば血糖値が下がってしまった時、保護者に連絡する等の約束事は決まっているのだろうか。

教育長：対応方法は個々の児童生徒の状況に応じて各学校で決まっている。今回の件も保護者には連絡済みである。医療的ケア児に対する対応はしっかりしなさいというように法律が変わってきている。現状は、あまり難しい要求ではなく、「うちの子は〇〇という持病があるが、必要な時にはこの注射を自分で打ちます」というようなことを学校に伝えて学校生活を送っていると思う。

教育委員：外部指導者と顧問の先生とのトラブルがあったという報告については、私も過去に外部指導をやったことがあるので、起こり得る話だと理解できる。外部指導者の言うことと先生の言うことが違うと生徒は混乱してしまうので、常に生徒には「私の言うことは頭の中にだけ入れておきなさい。全部先生の言うことを聞きなさい」と指導していた。このため、生徒が混乱することはなかったと思っている。このようなやり方で2年ぐらい外部指導をやらせてもらったが、なかなか上手くいかず、大変だった。

教育長：今はどちらかと言うと学校の方から「ぜひお願いしたい」ということの方が多い。

教育委員：保健室等に相談に行けるという環境ができていているということは素晴らしいと思う。小さい問題でも、その声を拾い上げてつなげてもらえれば、良い方向に向かっていくのではないかと思う。

教育長：声を上げられない、シグナルを発せられない子がいると、その子は追い詰められてしまう。

教育委員：自分の子どもが学校に通っていた時も不登校の子はすごく多かった。今回の報告の中に、修学旅行だけでも行かせたい、給食だけでもとらせたいなどの保護者の気持ちが書いてあったが、当時も「これはお母さんの気持ちなのではないか、本当に本人が望んでいることなのだろうか」と感じることはよくあった。

教育長：普段は不登校の子も修学旅行だけは参加するという子は多い。しかし「このような時だけ来るのか」と思う子もいる。

教育委員：修学旅行に行くということも、そこに至るまでの準備段階の心の整理が本人にとってはあるということを周りの子には理解してほしい。

教育委員：私が昔、関わった子の話であるが、その子の場合は午前中は体調が悪く授業には出られないが、いつもお昼頃になると調子が良くなるので給食の時間の少し位前に登校することが多かった。しかもその子はその時間であれば体調が良いので、周囲の子に対し、かなり強い口調でものを言うこともあり、周りの子どもたちはあまり良く思っていなかったようである。本人にとってはそれが一番良い生活のリズムであるが、周りの子たちにはそれは理解できないので、関係は上手くいっていなかった。

教育長：今はそのような登校も認めようということに変わってきている。先生が周りの子

どもたちに「理由があってこのような登校の仕方になっている。このような子もいるので理解してあげてほしい」と説明するようにしている。

(3) 今後の予定

- 11月4日 伊豆市校長会
- 5日 伊豆市児童生徒作品展
- 6日 伊豆市児童生徒作品展
- 8日 教育長県外視察（滋賀県守山市）
- 9日 教育長県外視察（岐阜県下呂市）、田方一斉授業研
- 11日 天城中学校 指導課訪問、教育長・校長代表者会
- 16日 中伊豆中学校 指導課訪問
- 18日 田方教育長会
- 21日 新中学校開校準備委員会
- 22日 静東教育長会
- 23日 青少年健全育成大会
- 25日 定例教育委員会
- 28日 伊豆市校長会
- ※12月議会 11/29日～12/20日 一般質問 12/1・2・5

次回教育委員会予定 11月25日 18時15分～

次々回教育委員会予定 12月21日、22日、23日

4 議事

議案第26号 令和4年度準要保護児童生徒の認定について

- ・学校教育課長より、児童扶養手当の受給世帯に該当する別添に記載した2名を新たに準要保護児童生徒として認定することについて説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第27号 令和4年度伊豆市青少年健全育成大会に係る表彰の審査結果について

- ・社会教育課長より、11月23日に開催する青少年健全育成大会の被表彰者（スポーツ活動、文化活動、青少年指導者）について、一覧表に基づき説明する。また青少年の主張の原稿発表者・応募者について及び伊豆っ子宣言賞の表彰団体について、一覧表に基づき説明する。

統括監：どのような場合に団体名で表彰されるのか、個人が表彰されるのか、という基準がよく分からなかったため、候補者を報告する依頼が来たときに学校が少し困っ

たようである。今年からすぐ基準を変えてほしいというわけではないが、学校現場が困らないように整理していただけるとありがたい。

教 育 長：被表彰者の氏名の記載の仕方が違うのはスポーツ活動の6番から9番のバスケットボールチームだけだろうか。その他は団体で出場した場合は団体名になっているのではないかと思う。団体を表彰する場合は伊豆市の子が何人以上という基準がある。

教 育 部 長：過去に伊豆総合高校の郷土芸能部が選ばれた時は個人名も記載されていたと思う。今回の韮山高校についても、部員として伊豆市の高校生の名前が出ていればよいのではないか。スポーツ活動の6番から9番のバスケットボールの子の場合、表彰の対象者は団体名にして、その中にこの伊豆市の生徒たちの名前が記載されている方が自然かなと思う。熊坂小学校も出場選手の名前を記載すればよいのではないか。

教 育 長：バスケットボールの被表彰者の子はクラブチームなので他の市町の子もメンバーの中にいるのだと思う。記載の仕方について、少し整理をしたい。スポーツ活動の2番の自転車大会団体の熊坂小学校については選手の個人名を入れて、6番から9番はバスケットボールの大会で優勝ということで、1つにまとめて伊豆市の4人の選手の個人名を入れる。文化活動の5番の韮山高校についても伊豆市の部員の個人名を入れる。5番の「県高等学校総合文化祭郷土研究部門発表大会」の韮山高校は団体で出場している。〇〇人中、伊豆市の子が何人いるかということが団体の表彰対象の基準になる。

社会教育課長：団体で表彰する場合の伊豆市民が所属している人数の基準は「半数以上」である。今回、被表彰者の記載について、統一した方がよいという意見があったため、例えばスポーツ活動の6番から9番のような形で、個人毎で表彰した方がよいか、又は6番から9番は同じ団体に所属しているということで団体名にして1つにまとめて、所属している伊豆市の選手の個人名を入れるかについて検討をしていたきたい。

教 育 部 長：団体の場合、伊豆市の選手は半分以上という基準で考えると、今回のバスケットボールの子を団体名で表彰する場合、伊豆市の生徒が4人なので、このチームのメンバーは最大でも8人しかいないことになるが、団体で表彰する基準を満たせるのか。

社会教育課長：このチームは団体名では表彰できない可能性がある。

統 括 監：伊豆市の個人がそのチームに入っていたということで考えればよいのではないか。このバスケットボールのチームが、他市のクラブチームだとすると、他市のチームを伊豆市として表彰することになってしまう。文化活動の韮山高校についても伊豆の国市の高校を伊豆市が表彰することになる。そこに所属している伊豆市の子どもたちを表彰したいと考えれば、伊豆市の子どもたちの名前が先に出てくる方がよいのではないか。そう考えれば個人を表彰する形にはなるのではないか。団体での成績のため団体名で表彰するという場合、その団体の構成員の半数以上

を伊豆市の子たちが占めていないとなると、団体としての表彰はできなくなるので、その点をどのように考えるのかということだと思う。

教 育 長：昔、甲子園に出場した子がいた時は、学校ではなく、個人を表彰し、伊豆市の〇〇というチームに所属していたという紹介をしたと思う。そうすると韮山高校の場合は個人名が出る方が良いと思う。また、バスケットボールの子たちについては団体の名前では表彰できないと思うので、個人名のままで良いと思う。

社会教育課長：了解した。文化活動の5番の韮山高校の文芸郷土研究部を個人名での表彰に修正する。

教 育 長：スポーツ活動5番の「子供自転車静岡県大会」の熊坂小学校と文化活動2番の「日本管楽合奏コンテスト」の修善寺中学校の吹奏楽部は市内の学校という団体として出場しているので、このままで問題ない。

上記、意見交換の後、特に異議が無く、承認された。

議案第28号 伊豆市文化振興計画策定委員会設置要綱の一部改正について

- ・社会教育課長より、伊豆市文化振興計画を策定するために制定した伊豆市文化振興計画策定委員会設置要綱について、関係法が「文化芸術基本法」となっていることに鑑みて、本計画についても「芸術」という文言を加える必要があるため、策定委員会設置要綱の「文化振興計画」となっている箇所を「文化芸術振興計画」に改正するための議案であることを説明する。

特に異議が無く、承認された。

5. 報告・連絡事項

<社会教育課から>

社会教育課 11月行事予定について

- ・社会教育課長より、11月の行事予定について説明する。

<学校教育課から>

指定校変更について (学校教育課指導主事から報告)

- ・2名の指定校変更について、報告する。

<教育長から>

新中学校保護者説明会について

- ・10月18日から26日まで、修善寺地区の4小学校と天城小学校、中伊豆小学校の計6小学校で実施した新中学校の保護者説明会について、資料により、主に質疑応答の内容を中心に報告する。

新中学校の校名選定について

- ・応募があった校名候補の一覧をまとめた資料を回覧しながら、応募が多かった名称について説明する。

6 意見交換

教 育 長：5月の総合教育会議の時に議題になっていた「図書館」について、意見を伺いたい。図書館を今後、市としてもっと有効活用していきたいということで、市民がもっと気軽に使えるような、例えばツタヤと連携した図書館等のイメージを市長は言っていたが、もっと活用してもらえるような方向にするにはどのようにしたらよいだろうか。公共施設として整備した建物の用途を変更するには制約があるが、その制約の範囲内で変更するとしたら、どのようなものができるかを検討するようにと市長から指示があった。このような図書館があったら良いという意見があれば聞かせていただきたい。中伊豆にも土肥にも天城にも図書館はあるが、利用者は多くない。

社会教育課長：分館を利用しているのは、特定の人が多い。

教 育 委 員：昔はよく図書館に行ったが、今はあまり利用していない。地区によっては図書館へ行きたくても遠くて行けない人もいるので、送迎バスがあれば利用者が増えるかもしれない。DVD などもあるが、分館でもそれらが見られるような、映像の視聴に特化したブースなどを設けると良いかもしれない。

教 育 長：確かにミニシアターのようなスペースがあるとよいかもしれない。

教 育 委 員：定期的に図書館で紙芝居などの子ども達を集めるような催し物をやるとか、3世代が交流できるような取組があると良いと思う。

教 育 長：「ロータンド」という図書館の前にある円形の場所があるが、そこをもっと活用できないかということは、以前にも話が出たことがあった。

教 育 委 員：昔、修善寺駅前にツタヤがあった時は、高校生の子を駅まで迎えに行く際にそこで時間を潰すことができた。使い勝手や交通の便がよければ、例えば駅前に図書館があれば、活用方策はすごく広がると思う。小さい子どもが騒いでもよいエリア、テスト勉強をやりたい子が親の迎えを待ちながら静かに利用できるエリア、小さい子を持つお母さんたちが井戸端会議もできるようなエリア、DVD が鑑賞できるエリア、というようにブースがはっきりと分かれて、全世代が使いやすいような空間を作ることが出来れば、使い勝手がよくなると思う。今の図書館は空間の使い方が全部一緒なので、どの世代も離れてしまうのではないかと思った。

教 育 委 員：確かにそのような図書館があると良いと思う。例えば1階は小さい子どもが騒いでいても、2階に行けば静かな空間があるというような形になれば利用しやすくなるかもしれない。

教 育 委 員：多くの人が集まって自由にできるところがあれば、子育ておしゃべりサロンも、今は生きいきプラザでやっているが、図書館のそのようなスペースに親子が集まることもできるのではないか。

教育委員：図書館としてのスペースと小さい子が集まるスペースやイベントのスペースは別の方が良いと思う。

教育委員：コンビニなどが近くにあれば良いが、飲料の自動販売機しかない。

教育長：図書館の中にお昼ごはんを食べられるようなスペースがあるとよいということだろうか。修善寺図書館周辺は新中学校の通学ルートとして生徒が通るようになると思うので、下校時に親の迎えを待つために図書館を利用することもあるかもしれない。駅前図書館のような案も過去に考えたことがなかっただろうか。

教育部長：駅前市役所（市役所の分館）の案はあったと思う。今の西口広場という芝生の場所にビルを建てて、その一部を市役所が間借りして出張所にしてはどうかという案が過去にはあった。

教育長：駅ビルを建てて、図書館もこのビルに入るという案が実現していれば、駅の利用のついでに図書館を利用する、高校生も駅前の図書館でバスや親の迎えを待つということができたかもしれない。様々な課題があるのでまた、意見交換で話題にしていきたい。

7. その他

- ・特になし。

8. 次回教育委員会

- ・次回 11月25日（金）18時15分 中伊豆支所

9. 閉会（梅原教育長）